

定例記者会見資料



○日 時	令和2年7月9日(木) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	【3キャンパス共通】 ・新型コロナウイルス感染拡大に対する学生支援について〔資料1〕 【浜田キャンパス】 ・浜田市雇用促進住宅の学生への賃貸について
○資料提供項目	【浜田キャンパス】 ・浜田キャンパス新学部設置届の受理について〔資料2〕
○行事予定	【浜田キャンパス】 ・浜田市より贈呈いただいた浜田市共通商品券の配布 7月8日(水) 7月9日(木) 7月13日(月) 7月14日(火) いずれも11:00～14:00 @島根県立大学浜田キャンパス体育館
○その他	【3キャンパス共通】 ・2020年度大学祭の中止について

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン



※次回の定例記者会見は 令和2年9月10日(木) 13:30から開催予定です。

新型コロナウイルス感染症拡大に対する学生支援に係る寄附金の状況（7/1時点）

①大学への寄附金による支援

区分	指定	金額（円）	備考
島根県立大学 未来ゆめ基金 (5/15～7/1)	浜田キャンパス	4,623,000	33件
	出雲キャンパス	2,206,000	46件
	松江キャンパス	623,000	10件
	指定なし	8,335,500	270件
	合計	15,787,500	359件 (うち山陰中央新報経由6,190,500円 235件)
ゆめ基金以外 (5/15～7/1)	松江キャンパス	30,000	感染予防用物品購入用（個人）
	松江キャンパス	300,000	感染予防用物品購入用（卒業生会）
	浜田キャンパス	100,000	外国人留学生支援
	合計	430,000	

②外部団体等による直接支援

団体等	支援先	内容
浜田市	浜田キャンパス	学生一人当たり1万円の商品券を給付
松江キャンパス 後援会	松江キャンパス	学生一人当たり1万円を給付



【資料 2】

令和 2 年 7 月 9 日 学長定例記者会見
島根県立大学（浜田キャンパス）
具体的内容照会先：新学部学科設置等準備室 山口
電話：0855-25-5924

浜田キャンパス新学部の設置について

島根県立大学のミッション実現に向けて、新学部設置（学部改編）計画を確実に履行していくとともに、大学改革の取組みを更に推進していく

■学部改編のポイント・考え方

○改編の趣旨

学部・学科、コース編成においては、在職教員の専門分野も考慮しつつ、教育目的の明確化（＝わかりやすさ）を重視

1. 教育課程

- (1)教育目的（養成する人材像）に照らし、コース毎にコアとなる科目を設定し、履修の体系性を確保。学生が身に着けることができる力を明確にすることで、人材育成機能を強化
- (2)特に地域政策学部では、「課題先進県」である島根県をフィールドに地域志向の教育を実践
- (3)学部・学科を「国際」と「地域」に区分する一方で、グローバル人材の育成も見据え、両学部の学生が共通して学べる科目も配置

2. 教員組織

- (1)総合政策学部から異動する教員に加え、今般の学部再編を見据え、8名の新規採用教員を決定済（教員数は開設時に一時増となるが、学部完成までには現状並となる予定）
- (2)特に、地域づくりコースにおいては、地域のリーダーとなる人材を養成すべく実践的教育を重視する観点から、新たなコンセプトの下で実務家教員を含め8名中6名を新規採用教員とし、地域づくりに資する教育・研究機能を強化

3. 入試

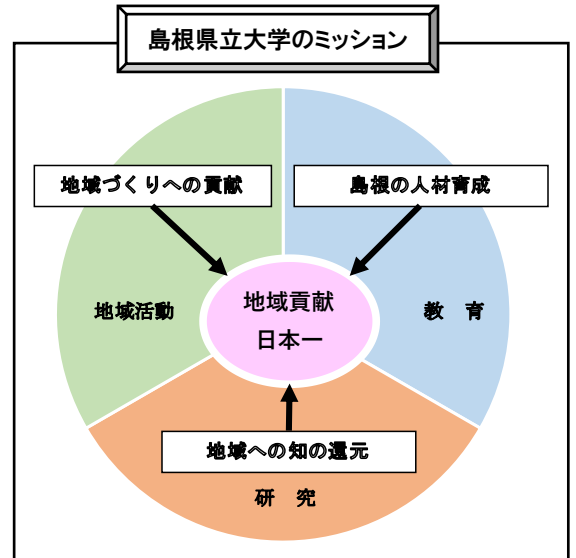
- (1)コース毎に、特色を踏まえた入試を実施し、入学時から目的意識を持った意欲的な学生を募集
- (2)島根県内の高校生のみを対象とした「学校推薦型選抜」を設け、両学部で45名の枠を確保
- (3)特に、地域づくりコースにおいては、本学と高校（連携校）が県内高校生を「共に育てる」とのコンセプトの下、「学校推薦型選抜」の中に「連携校推薦」の入試枠（20名）を設定



■今後の予定

- 既設の総合政策学部は在籍生がいなくなった段階で廃止
- 新たな施設整備（工事等）は予定しておらず、円滑な入学生の受け入れが可能
- 志願者獲得に向け、また、県民の皆様に向け新学部の特色が伝わるよう広報活動を展開

新学部 web サイト 随時更新中！



身につけさせる力

グローバル化に伴い複雑化した国内外の諸問題を理解し、外国語活用能力（英・中・韓・露）を駆使しながら、適切な学術的方法や専門的視角に基づき、多文化社会の課題解決に取り組む姿勢を身につける。

政治学、国際関係学、北東アジアの地域研究の専門的知識、グローバル化に伴う複雑な問題を理解する力、多文化共生や地球規模の諸課題の解決策を構想する力、そのために必要な英語と第二外国語（中・韓・露）の活用能力、異なる意見を持つ多彩な他者を理解し共感する力を身につける。

言語学・コミュニケーション学に関する専門的知識、多文化や国際社会についての理解、国際通用語である英語に加え、北東アジア地域諸国の言語（中・韓・露）を運用する力、異なる文化的背景を持つ他者とも対話を通じて相互理解を深めようとする姿勢を身につける。

卒業研究

専門科目

国際関係コース科目（35科目）

- ①モンゴル文化社会論、②日中交流史、③朝鮮半島社会論、④ロシア社会論、⑤ロシア文化論、⑥比較宗教学、⑦社会宗教論、⑧北東アジア民族関係論、⑨グローバル市民社会論、⑩アジア環境論、⑪アジアのイスラーム世界、⑫南アジア研究、⑬環境経済論、⑭環境システム論、⑮政策過程論、⑯NPO論、⑰憲法Ⅱ、⑱比較憲法、⑲文化社会学、⑳福祉社会学、㉑中国政治社会論、㉒中国外交論、㉓朝鮮半島政治論、㉔朝鮮半島外交論、㉕日朝関係史、㉖ロシア政治経済論、㉗日露関係論、㉘アジア比較政治、㉙グローバル・ガバナンス論、㉚国際法、㉛国際機構論、㉜ヨーロッパ統合論、㉝国際開発論、㉞政治哲学、㉟ゲーム理論

専門演習

基礎演習

国際コミュニケーションコース科目（27科目）

- ①第二言語習得論、②コーパス言語学、③対照言語学、④言語文化研究（英語）、⑤言語文化研究（中国語）、⑥言語文化研究（韓国語）、⑦言語文化研究（ロシア語）、⑧デジタルコミュニケーション論、⑨映像コミュニケーション論、⑩映像表現論、⑪ローカル・ジャーナリズム論、⑫文学批評論、⑬コミュニケーション分析法、⑭対人コミュニケーション論、⑮グローバルディスカッション、⑯グローバル・コラボレーション、⑰⑱ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、⑲プレゼンテーション、⑳ディベート、㉑リサーチペーパー・ライティング、㉒㉓実践中国語Ⅰ・Ⅱ、㉔㉕実践韓国語Ⅰ・Ⅱ、㉖㉗実践ロシア語Ⅰ・Ⅱ

専門演習

基礎演習

専門基礎科目

国際関係コース科目（18科目）

- ①国際関係概論、②政治学概論、③政治学、④北東アジア関係概論、⑤国際政治学、⑥北東アジア国際関係史、⑦アメリカ政治外交論、⑧アジア経済論、⑨日本外交史、⑩政治思想史、⑪モンゴル語と文化、⑫質的調査法、⑬数的処理の基礎、⑭経営学総論、⑮マクロ経済学、⑯ミクロ経済学、⑰行政学、⑱歴史資料解読法

アカデミックライティング

国際コミュニケーションコース科目（26科目）

- ①コミュニケーション学概論、②言語学概論、③英文法、④音声学、⑤英語音韻論、⑥社会言語学、⑦比較言語文化論、⑧異文化コミュニケーション論、⑨⑩英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、⑪英語アカデミックリーディング、⑫英字新聞リーディング、⑬⑭エッセイライティングⅠ・Ⅱ、⑮⑯中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、⑰⑱中国語読解Ⅰ・Ⅱ、⑲⑳韓国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、㉑㉒韓国語読解Ⅰ・Ⅱ、㉓㉔ロシア語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、㉕㉖ロシア語読解Ⅰ・Ⅱ

アカデミックライティング

国際関係学科共通科目（14科目）

- ①多文化共生論入門、②国際文化論、③地域研究方法論、④平和学、⑤ポードースタディーズ、⑥国際社会学、⑦文化人類学、⑧比較文化論、⑨アメリカ文学、⑩イギリス文学、⑪憲法Ⅰ、⑫社会学、⑬地域資源論、⑭SDGs概論

基礎教養科目

- 【社会科学】①しまね地域共生学入門、②日本の政治、③国際社会と政治 ④グローバル時代の平和と安全、⑤グローバリゼーション論、⑥経済学入門、⑦現代企業論、⑧法学入門、⑨社会学入門、⑩ジェンダー論 【人文科学】①哲学、②日本思想史入門、③日本文化論、④人文地理学、⑤歴史学概論、⑥西洋近代史、⑦文学、⑧芸術学、⑨心理学概論、⑩地域文化入門 【自然科学】①経済数学の基礎、②自然地理学、③環境科学、④島根県の水産業 【統計・情報】①コンピュータ・リテラシー、②情報リテラシー、③④統計学Ⅰ・Ⅱ 【連携】①②教養ラボⅠ・Ⅱ 【英語】①②英語Ⅰ・Ⅱ、③④ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、⑤海外英語研修 【北東アジア言語】①②中国語Ⅰ・Ⅱ、③海外中国語研修、④⑤韓国語Ⅰ・Ⅱ、⑥海外韓国語研修、⑦⑧ロシア語Ⅰ・Ⅱ、⑨海外ロシア語研修 【日本語（留学生のみ）】①～④日本語Ⅰ～Ⅳ 【多文化理解】①～⑤異文化理解（アメリカ、カナダ、中国、韓国、ロシア）、⑥多文化交流 【キャリア】①キャリアデザイン、②キャリアプランニング、③インターンシップ実習

入試

国際関係コース（募集人員45名）

国際コミュニケーションコース（募集人員45名）

身につけさせる力

広く世界の趨勢と日本全体の問題を視野に入れながら、地域社会のさまざまな問題について多様な知識を融合し、また多様な関係者と協働しながら、地域の自律と持続的な発展にむけた課題の解決策を提示できる能力を身につける。

経済学や経営学に関する基礎的な知識をもとに、行政や支援機関、企業との連携にもとづいたフィールドワークを行い、地域や企業の価値や問題を発見し、解決策を提示し、実行できるような応用力を身につける。

法、政治・行政、社会の各領域の知識を身につけ、地域社会の様々なステークホルダーと協働しながら、自律した個人として、公共的な見地から課題の解決策を立案する力を身につける。

社会調査の知識や手法、郷土資料の解読手法等を修得し、地域が保有する資源（社会関係資本、自然資源、歴史文化資源等）を分析し、社会が抱える問題解決に向けたプロジェクトを企画・実行することが出来る力を身につける。また、その結果を見える化し、表現できる能力を身につける。

専門科目

卒業研究

地域経済・経営コース科目 (33科目)

【コア領域科目】

- ①地域経済論、②交通・観光経済論、③情報経済論、④ゲーム理論、⑤農業経済政策論、⑥財政学、⑦公共政策論、⑧水産経済政策論、⑨計量経済学、⑩地域産業調査分析、⑪経営管理論、⑫マーケティング論、⑬ベンチャービジネス論、⑭企業会計、⑮地域金融論、⑯経営戦略論、⑰意思決定論、⑱地域産業政策論、⑲情報社会論、⑳環境経済論、㉑公共経済論

【関連領域科目】

- ①憲法Ⅱ、②民法Ⅱ、③民法Ⅲ、④労働法、⑤商法、⑥地方自治論、⑦政策過程論、⑧地域交通政策論、⑨社会保障論、⑩起業実践法、⑪関係人口論、⑫地域経営論

地域マネジメント演習

地域公共コース科目 (42科目)

【コア領域科目】

- ①行政法Ⅱ、②憲法Ⅱ、③民法Ⅱ、④民法Ⅲ、⑤比較憲法、⑥環境法、⑦労働法、⑧国際法、⑨商法、⑩地方政治、⑪政治哲学、⑫地方自治論、⑬政策過程論、⑭家族社会学、⑮文化社会学、⑯福祉社会学、⑰地域交通政策論、⑱社会保障論、⑲文化政策論、⑳財政学、㉑公共政策論、㉒情報社会論、㉓関係人口論、㉔交通・観光経済論、㉕刑法、㉖公共経済論、㉗NPO論

【関連領域科目】

- ①農業経済政策論、②国際開発論、③水産経済政策論、④計量経済学、⑤意思決定論、⑥地域産業政策論、⑦地域総合計画論、⑧環境政策論、⑨環境システム論、⑩マーケティング論、⑪経営管理論、⑫アジア環境論、⑬ボランティア論、⑭社会思想論、⑮地域経営論

専門演習

地域づくりコース科目 (39科目)

【コア領域科目】

- ①NPO論、②ボランティア論、③ローカル・ジャーナリズム論、④地域ネットワーク活用法、⑤起業実践法、⑥マーケティング論、⑦ブランディング論、⑧文化遺産活用法、⑨関係人口論、⑩社会宗教論、⑪社会思想論、⑫地域総合計画論、⑬地域経営論、⑭映像表現論、⑮環境保全論、⑯環境文化論、⑰環境政策論、⑱環境経済論、⑲環境システム論、⑳家族社会学、㉑福祉社会学、㉒社会保障論、㉓文化政策論、㉔文化社会学

【関連領域科目】

- ①憲法Ⅱ、②地方自治論、③地域産業調査分析、④ベンチャービジネス論、⑤地域経済論、⑥農業経済政策論、⑦財政学、⑧公共政策論、⑨国際開発論、⑩水産経済政策論、⑪アジア環境論、⑫計量経済学、⑬交通・観光経済論、⑭公共経済論、⑮地域金融論

卒論演習

地域プロジェクト研究

専門基礎科目

地域経済経営コース科目 (15科目)
※下線はコース必修科目

【コア領域科目】

- ①マクロ経済学、②ミクロ経済学、③アジア経済論、④経営学総論、⑤会計学、⑥中小企業論、⑦経営組織論、⑧地域資源論、⑨SDGs概論

【関連領域科目】

- ①憲法Ⅰ、②民法Ⅰ(総則)、③行政学、④社会学、⑤地域資源活用法、⑥コミュニティ政策論

地域経済経営基礎演習

地域公共コース科目 (21科目)
※下線はコース必修科目

【コア領域科目】

- ①憲法Ⅰ、②民法Ⅰ(総則)、③民法と家族、④行政法Ⅰ、⑤政治学概論、⑥政治学、⑦政治思想史、⑧行政学、⑨社会学、⑩コミュニケーション学概論、⑪ミクロ経済学

【関連領域科目】

- ①マクロ経済学、②経営学総論、③経営組織論、④コミュニティ政策論、⑤SDGs概論、⑥自然保護思想、⑦中小企業論、⑧地域資源論、⑨アジア経済論、⑩グローバル市民社会論

地域公共基礎演習

地域づくりコース科目 (18科目)
※下線はコース必修科目

【コア領域科目】

- ①歴史資料解読法、②地域資源活用法、③地域文化論、④コミュニティ政策論、⑤SDGs概論、⑥自然保護思想、⑦社会学、⑧グローバル市民社会論、⑨地域資源論、⑩中小企業論、⑪経営組織論

【関連領域科目】

- ①憲法Ⅰ、②民法Ⅰ(総則)、③民法と家族、④ミクロ経済学、⑤経営学総論、⑥会計学、⑦コミュニケーション学概論

地域づくり基礎演習

地域政策概論・リサーチ科目・国際理解科目・実習科目 (16科目)

【学部コア科目】 ①地域政策概論、②地域社会論 【リサーチ科目】 ①社会調査法、②質的調査法、③アカデミックライティング、④数的処理の基礎

【国際理解科目】 ①国際政治学、②国際関係概論、③平和学、④多文化共生論入門、⑤北東アジア国際関係史、⑥文化人類学

【実習科目】 ①自治体・NPO等インターンシップ、②③フィールド基礎実習A・B、④地域理解(国内研修)

基礎教養科目

【社会科学】 ①しまね地域共生学入門、②日本の政治、③国際社会と政治 ④グローバル時代の平和と安全、⑤グローバリゼーション論、⑥経済学入門、⑦現代企業論、⑧法学入門、⑨社会学入門、⑩ジェンダー論 【人文科学】 ①哲学、②日本思想史入門、③日本文化論、④人文地理学、⑤歴史学概論、⑥西洋近代史、⑦文学、⑧芸術学、⑨心理学概論、⑩地域文化入門 【自然科学】 ①経済数学の基礎、②自然地理学、③環境科学、④島根県の水産業 【統計・情報】 ①コンピュータ・リテラシー、②情報リテラシー、③④統計学Ⅰ・Ⅱ【連携】 ①②教養ラボⅠ・Ⅱ 【英語】 ①②英語Ⅰ・Ⅱ、③④ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、⑤海外英語研修 【北東アジア言語】 ①②中国語Ⅰ・Ⅱ、③海外中国語研修、④⑤韓国語Ⅰ・Ⅱ、⑥海外韓国語研修、⑦⑧ロシア語Ⅰ・Ⅱ、⑨海外ロシア語研修 【日本語(留学生のみ)】 ①④日本語Ⅰ~Ⅳ 【多文化理解】 ①⑤異文化理解(アメリカ、カナダ、中国、韓国、ロシア)、⑥多文化交流 【キャリア】 ①キャリアデザイン、②キャリアプランニング、③インターンシップ実習

入試

地域経済経営コース (募集人員45名)

地域公共コース (募集人員45名)

地域づくりコース (募集人員50名)